

## ① 安全上の注意

安心してご使用いただくために、以下のことを必ず守ってご使用ください。

### 警告

以下の記載を無視して、誤った取り扱いをすると、人命に関わるけがや重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

本商品を顔にかぶせたり、口にいたりしないでください。窒息する恐れがあります。

### 注意

以下の記載を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

詰め物を取りださないでください。

直射日光に当てないようにしてください。紫外線による変質の原因になります。

高温のもの（ドライヤー、ストーブ、アイロン等）および低温のもの（ドライアイス等）に近づけないでください。変質の原因になります。

火または温度の高いものに近づけないでください。火災の危険があります。

無理な力（折り曲げる、強くにぎる、引っ張る、ねじる等）を加えないでください。

本製品は全てのウイルス、菌による感染を予防するものではありません。

本製品は全てのウイルス、菌に対する効果検証を行ったものではありません。

コロナウイルス感染の治療を目的とするものではありません。

## ② ご使用になる前に

- お手元に商品が届きましたら、速やかに商品をご確認ください。
- ご使用前に傷、ほころび、汚れ等がないことを、必ずご確認ください。嚴重な管理のもと製造しておりますが、万が一不備がありましたら、お手数ですが、(株)タイカ または取扱店にご連絡ください。
- 詰め物が片寄っている場合がありますので、形をならしてからご使用ください。
- 開封直後、詰め物（ウレタンフォーム）の臭いが気になる場合がありますが、身体に害を与えるような有害物質は含んでおりません。

## ③ 仕様

- 素材  
側 地/ポリエステル 100% 詰め物/ウレタンフォーム、ナイロン
- 種類、サイズ、質量

種類	サイズ	質量
ブーメラン(大)	60cm×101cm	1,200g
ブーメラン(小)	55cm×94cm	1,000g
ウェーブ	65cm×85cm	1,100g

- 側地に感染性ウイルス量の変化が認められた小松マテール(株)が開発した抗ウイルス加工素材「エアロテック®PR」を使用しています。
- サイズ、質量は目安の数値です。
- PLA**は(株)タイカの登録商標です。
- 製品の仕様は改善などのため、予告なしに変更することがあります。

## ④ お手入れ方法

本商品は丸洗いができます。お洗濯の際は下記の洗濯方法をお守りください。

	70℃以下の液温で、洗濯機で洗濯できます。
	酸素系漂白剤は使用できますが、塩素系漂白剤は使用できません。
	アイロン掛けはできません。
	ドライクリーニングはできません。
	ウェットクリーニングはできません。
乾燥	100℃以下の設定で乾燥機をご使用ください。

- 汚れが気になる場合は、別売の専用カバーのご利用をお勧めします。
- 自然乾燥は十分な乾燥ができないため、かび発生等の原因になりますのでおやめください。
- アルコールを含む除菌消臭剤は、詰め物の劣化を促進させる恐れがありますので使用しないでください。
- 定期的に風通しの良い日陰で乾燥させることをお勧めします。
- お洗濯の際の液温は 80℃まで対応可能です。JIS 規格の洗濯表示上、該当する記号がないため、本表には 70℃以下と表記しています。

株式会社タイカ ウェルネス事業本部  
〒125-0054 東京都葛飾区高砂5-39-4  
Tel.03-5648-6630 Fax.03-5648-6640  
 0120-152047 (無料)

**PLA** シリーズ  
**ウェルビーIC**



# 取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読みください。

**Taica**

# ポジショニングクッション ウェルピー IC 取扱説明書

1. ウェルピー IC は、体位保持、体圧分散、緊張緩和に適したクッションです。

- ・体位保持：一定の姿勢を楽に保つことを可能にします。
- ・体圧分散：広い面積で体重を支えることを可能にします。
- ・緊張緩和：重力に逆らわない自然な姿勢を可能にします。

2. ウェルピー IC は、さまざまな状況に対応します。

組み合わせてご使用になると、より理想的な環境をつくり出せます。使用例をご参照ください。

3. 作業療法士や理学療法士、看護師などの指導を受けてご使用になることをお勧めします。



## 使用例

### ■ブーメラン(大)・ブーメラン(小)



カーブしているため、腕やひじなど可動する部位にフィットします。仰臥位で頭部と肩甲骨が支えられます。いろいろなポジショニングに使える便利なクッションです。



① 上肢のポジショニングの場合、肩甲骨から敷き込み、腕全体が乗るように使用する。車いす上で身体が傾いてしまう場合も同じように使用する。



② 頭部のポジショニングの場合、両端を肩甲骨まで敷き込み、頭部・胸部全体を支える。



③ 背上げ時の前ずれ防止の場合、大腿部の付け根にしっかり差し込み、上体の重さを支える。

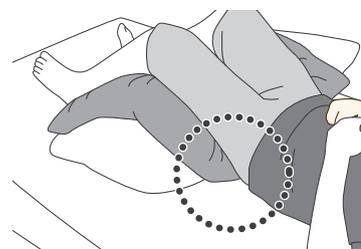


④ 車いす上で腕の緊張を落としたい場合は、大腿部の上にクッションを置いて腕を乗せて使用する。

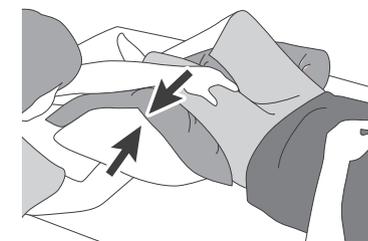
### ■ウェーブ



スリット部分で脚のような丸い箇所を包み込みます。膝関節に拘縮がある方のポジショニングに向いています。



① 大腿部でしっかり重さを受けるためには、大腿部、特に中枢部(臀部に近い側)で支えることが大切。クッションをしっかり臀部近くまで敷き込む。



② クッションの下に手を入れ、手の平を上部に持ち上げるようにし、上から軽く押したときに、下の手にしっかり重さを感じる高さにする。

#### 悪い例

- クッションが肩甲骨まで敷き込まれていないため、上腕部を支えていない。



#### 悪い例

- 高さが低いため下肢の重さがクッションに乗っていない。
- 脚がスリットから外れている。

